

事業実績概要書

事業名称	滝前不動新春竹宵 イベント対応
実施内容及び効果	<p>【実施内容】発足以来、千葉県我孫子市及び手賀沼周辺地域において環境整備や環境保全活動を通じて、環境保全型社会の構築とそれを基盤としたまちづくりに貢献する活動を実施しており、その一環として始めた「滝前不動新春竹宵」も今回で第16回目となり、24日間に渡る竹灯籠のライトアップ、各イベントを日々、ボランティア学生らを交えて実施した。</p> <p>参加ボランティア学生数：延べ84名</p> <p>イベント対応の内容として</p> <ol style="list-style-type: none"> オープニング点灯式 2025年12月20日 <ul style="list-style-type: none"> トッシー、藤原郁造、小島拓郎らによる演奏 当代表の開会宣言 ・水野県会議員 挨拶 渡辺我孫子副市長 開会の挨拶 我孫子市社会福祉協議会鈴木会長 竹灯籠点灯 アンサンブル・ルミエール 合唱 竹灯籠づくり出前講座 2025年12月20日、12月21日（3回/日） <ul style="list-style-type: none"> 既に「竹灯籠づくり」のボランティア活動で実習した竹灯籠の制作を教える立場となり、出前講座に応募した一般の参加者の竹灯籠づくりを学生らがサポート <ul style="list-style-type: none"> 一般参加者 延べ60組のサポート対応 読み聞かせ <ul style="list-style-type: none"> 12月21日 めばえ幼稚園おはなし会サークル 約60名の幼児親子が参加、その案内、景品対応 12月27日 アンジェリカ保育園絵本の会 64名の幼児親子が参加、その案内、景品対応 1月4日 住み良い子ども部会 約80名の幼児親子が参加、その案内、景品対応 1月10日 才能のパズル勇士メンバー 約80名の幼児親子が参加 その案内、景品対応 1月11日 住み良い子ども部会 約100名の幼児親子が参加 その案内、景品対応 1月12日 めばえ幼稚園おはなし会 約60名の幼児親子が参加 その案内、景品対応 和太鼓・お囃子演奏（上記来場者数含む） <ul style="list-style-type: none"> 12月21日 つくし野麒麟太鼓による和太鼓演奏 約60名の来場者の対応 1月4日 我孫子河童太鼓による和太鼓演奏 約70名の来場者の対応 1月10日 和太鼓 鼓作による和太鼓演奏 約80名の来場者対応 1月11日 あびこふるさと会によるお囃子踊り演奏 約100名の来場者の対応 1月12日 和太鼓 音魂による和太鼓演奏 約240名の来場者の対応 スタンプラリー <p>来場者のほとんどが「かぐや姫を探せ」のスタンプラリーに参加し、ボランティア学生は、景品交換などの対応を行った。</p>

第16回目となる今回は、荒天により、イベントそのものが中止になったり、竹ドームが雪で倒壊するなどのアクシデントも起こり、「読み聞かせ」は、急遽、お堂前広場へと変更したが、点灯された竹灯籠で彩られた滝前不動の参拝者もあり、24日間の内、竹宵イベントは、22日間開催した。陽も暮れ寒い中ではあったが、そのすべての日程にボランティア学生らも来場者の各種対応を行った。

例年、当会のメンバーだけでの対応だけだと行き届かない面や当番を決めるのに苦労があったが、学生が参加してくれたことで、補える形となり、現場も賑わった。

<2025年12月20日 小雨模様の中のオープニングセレモニー>



<2025年12月27日 「読み聞かせ」 アンジェリカ保育園絵本の会> ボランティア学生活動の様子



<2026年1月4日「和太鼓演奏」我孫子河童太鼓>



<2026年1月4日「読み聞かせ」住み良い子ども部会>



<2025年12月20日~2026年1月12日 スタンプラリー>



<2026年1月11日「お囃子」あびこふるさと会>



<2026年1月11日「読み聞かせ」住み良い子ども部会



<https://www.youtube.com/watch?v=4V2M9goba-Q>

【効果】

代表世話役が市内を中心に各学校に訪問し、事前オリエンテーションの案内をした。

その結果、大学や高校でボランティア活動推進に熱心な学校から、事前オリエンテーションへ参加する学生生徒が約50名集まり、その中から実際に35名の申込者を得ることができた。

イベント期間中は、悪天候の日が多く、残念ながら中止になった日もあったが、総じて、学生らが参加したことで来場者も増え、最終日など今までで最高の240名もの参加者であった。

来場者約2000名 例年と比べ40%の上昇であった。

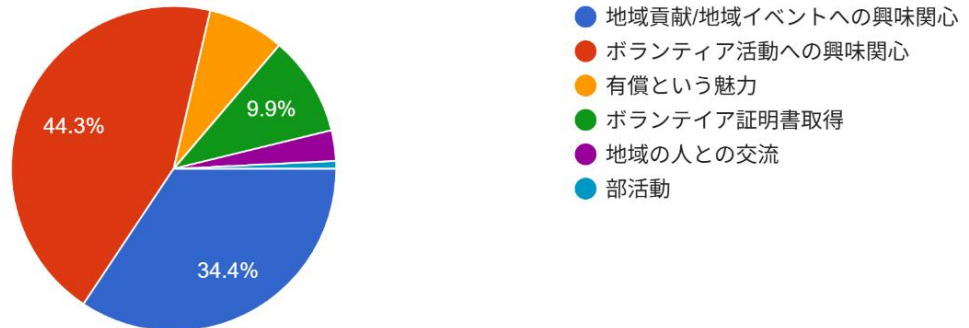
学生の参加によりSNSでの発信効果もあり、16時から19時以外の来場者も増え、認知度も上がった。

竹林整備、竹灯籠つくりのボランティアを経てのイベント対応であっただけに、環境整備、保全からその間伐竹の再利用、さらには、その一連の環境活動を一般の参加者にボランティア活動の中で幅広く伝える経験ができたことは、学生の心の中に強く焼き付いているようだ。

《アンケート調査結果》

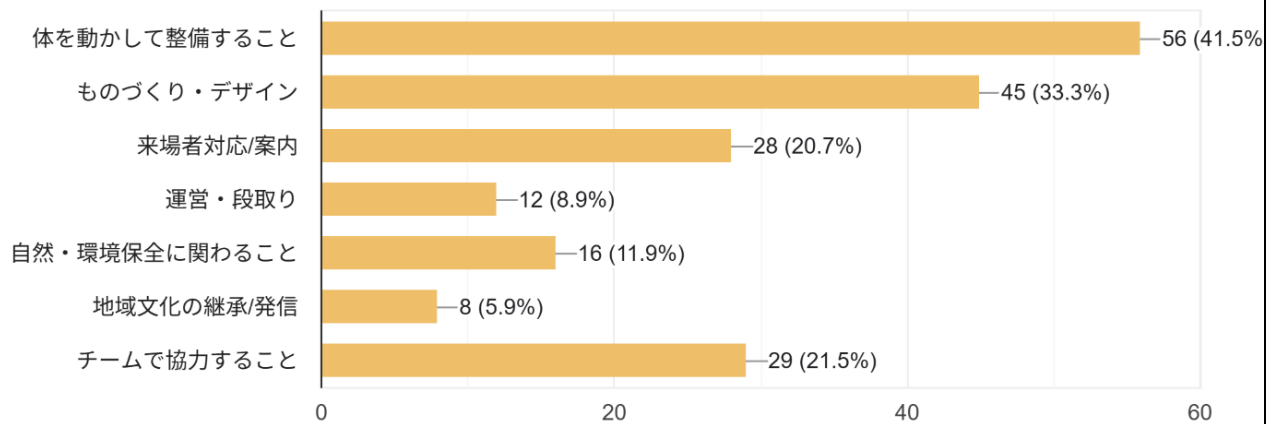
Q1 参加動機をお教えてください

131件の回答



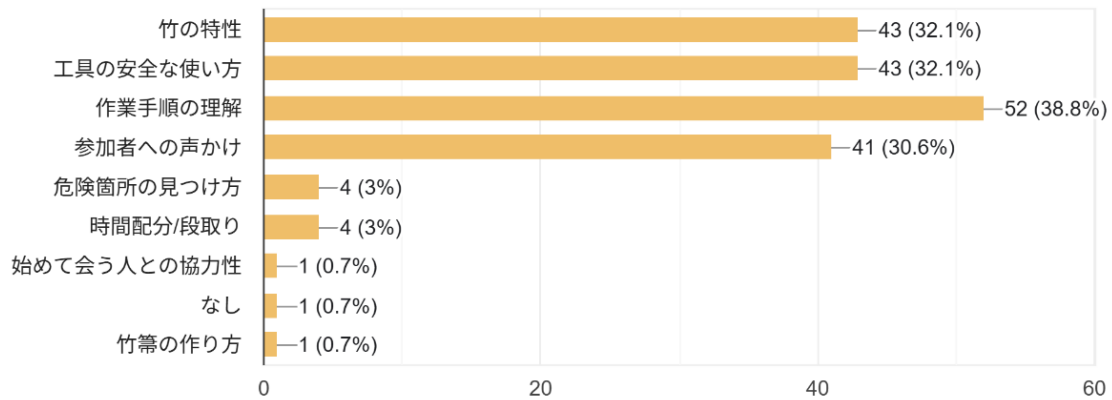
Q3 やりがいを感じられた点は

135件の回答



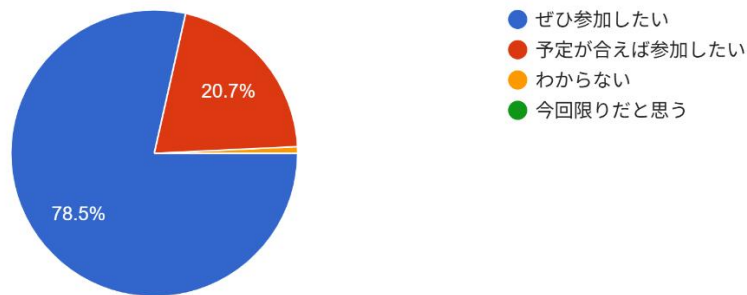
Q4学び・気づきがあった点について

134件の回答



Q5 次回の参加意向

135件の回答



①竹宵イベント来場者の方々の反応はいかがでしたか？嬉しい反応や意外な反応はありましたか？

景品が喜ばれていました。ライトが人気で減りが早かったです。次回はライトの景品を増やした方が喜ばれそうです。

遠くから来て下さった方もいて、とても楽しそうで良かったです。

喜んでもらえた。×6

ありがとうございました。

学生と言ったらとても驚いていて寒い中頑張ってくださいと言われたこと

みんな楽しそうでよかった。

ライトが人気でした！

とても楽しく過ごして下さって嬉しかったです！

竹札が人気でした

読み聞かせや太鼓があってお客さん喜んでました！

ライトアップが綺麗と言ってくれる

スタンプラリーが喜ばれました！

先に来場者が来ていてそのお子さんが楽しそうに回っていました

皆さんとても楽しまれていてこちらも嬉しかったです。

- ※1 事業の実施によって得られた効果等を記載してください。
- 2 参加助成においては、事業に関わる応援対象者を増やすために実施したことも記載してください。
- 3 事業実績概要書は、実施した事業ごとに記載してください。